

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	バルクナノメタルが示す特異な力学特性の統一的理解とそれに基づく材料設計
研究代表者	辻 伸泰（京都大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、応募者らが見いだしたバルクナノメタルの変形における7つの特異現象について先進的解析手法を駆使して詳細に解析し、バルクナノメタルの変形挙動を統一的に理解するための学理の構築を目指す取組である。学術的価値が高く、その成果は革新的な構造材料の開発につながる可能性がある。応募者はこれまでにも超微細粒金属の研究分野で卓越した実績を上げており、本研究を遂行して、国際的に高く評価される研究成果を上げることが期待される。このように、本研究はバルクナノメタルの研究分野をリードする、世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>